

会議録

議題	平成 19 年度 第 1 回大和市障害者自立支援協議会（定例会・専門部会合同開催）			
出席者	下記参照	欠席者	印印印	印印印

会議日時：平成 19 年 7 月 26 日 17:00～19:00

場所：大和市障害者自立支援センター

出席者：

西原毅氏（県央療育センター施設長）

芳賀康寿氏（ワークステーション・菜の花）、

佐野文彦氏（あゆみの家所長）

関水貴浩氏（福田の里施設長）

遠藤八重子氏（大和市社会福祉協議会協居宅介護センターサービス提供責任者）

澤田眞理子氏（大和保健福祉事務所保健予防課長）

前田富生氏（県立瀬谷養護学校地域支援担当総括教諭）

西山誠一郎氏（大和市教育委員会指導室指導主事）

入岡公司（障害福祉課長）

村尾朗（サポートセンター花音所長）

目黒裕（松風園施設長）

星野宗吾（自立支援センター施設長）

・専門部会

・児童部会

滝本美知留氏（サポートハウス ワン・ピース理事長）

三部雅彦氏（家庭児童相談室 相談員）

宇山秀一氏（県央療育センター）

有川龍（障害福祉課 認定心理士）

・精神部会

土屋史雄氏（大和保健福祉事務所）

高松秀一氏（地域活動センター コンパス）

八賀伸治氏（フレッシュグーンボイス所長）

曲本聰氏（リバーシティ大和）

日向清史氏（大和病院ケースワーカー）

石田美奈子（障害福祉課 保健師）

・就労部会

宮原義行氏（グリーンハウス分場）

民實健二（障害福祉課 ケースワーカー）

・事務局

熱田辰雄、坂本勝敏（障害福祉課）

山田兼右（松風園）

林伸樹、岩渕陽子（サポートセンター花音）

三瓶悦子、佐藤倫孝（自立支援センター）

・欠席者

芳賀美和氏（大和公共職業安定所 就職促進指導官、就労部会）

議 題：(1) 定例会

別紙、会議次第に沿って進行。

1. 入岡障害福祉課長より挨拶
2. 委員自己紹介
3. 相談支援事業について（事務局より）
4. 自立支援協議会について（事務局より）
5. 会長選出

会長：星野（入岡障害福祉課長からの推薦、承認）

副会長：入岡障害福祉課長（事務局からの推薦、承認）

6. 自立支援協議会事業計画・予算について（事務局より）

7. 質疑応答

- ・定例会への代理出席は可能か（委員より）

↓

当面は可能とし、将来、議決権の付与等、問題が発生した場合には、その時に検討をする。

- ・定例会のみではなく、専門部会や事務局会議の議事録の配布予定はあるか

↓

（委員より）

・所属していない専門部会や事務局会議等の議事録も配布されてしまうと各委員の負担が大きくなってしまわないか（委員より）

・精神障害関連では抱えている課題も多く、精神分野以外の方にも、議事録を通して、課題を知ってもらいたいという思いがある（委員より）

↓

専門部会議事録については、希望される機関には配布をすることとする。また、事務局会議については、精査された内容を定例会、専門部会に情報提供、問題提起していくため、議事録は配布しないこととする。

- ・定例会日程については、早めに連絡もらいたい。（委員より）

↓

最低でも会議1ヶ月前までには、出席依頼するように努める。

- ・定例会、専門部会に出席いただくにあたり、委嘱状は必要であるか（事務局より）

↓

希望される機関は申し出いただき、委嘱状をお渡しすることとする。

- ・定例会について（事務局より）

障害福祉分野の課題を共有し、考えていく場としていきたい。そのためには、相談支援事業所が受けた相談をケース検討会等を通して、いかに整理、精査し、定例会に事務局より情報提供をしていけるかが重要になるとを考えている。大和市の自立支援協議会については、立ち上がったばかりなので、まずはできることをしっかりと行いながら、2年後を目処に更に機能していける自立支援協議会へと形を整えていきたい。

- ・その他

- ・大和市特別支援教育巡回相談チームについて（委員より）

現在、6.3%の子どもたちが何らかの発達障害を持っており、通常級の中にもニーズのある子どもたちがたくさん在籍している。学校や家族からのニーズを受けて、特別支援教育巡回相談チームが「専門家チーム」として学校などの支援にあたっている。H18年度は101回実施した。今後も、教育だけではなく、福祉など他機関との連携を図っていきたい。

- ・県、圏域自立支援協議会について（委員より）

保健福祉圏域(5圏域)毎に圏域自立支援協議会を開催している。県央地域については、これまで2回開催されている。圏域自立支援協議会については、各市町村のニーズや課題を吸い上げ、圏域で取り組んでいくべき課題について、課題解決のための取り組みを行っていくこととしているが、会議出席者が30名以上となっており、話し合いを行っていくには組織が大きくなりすぎてしまっている。また、県自立支援協議会については、行政や専門機関、5保健福祉圏域の事務局に横浜、川崎、横須賀、相模原を加えた構成となっている。村尾は圏域、県双方の自立支援協議会に出席しているため、地域の課題を伝えていくとともに、両協議会での話題についても情報提供をしていく。

- ・入岡課長より情報提供

神奈川県では、年間1700～1800名、大和市では50名前後の自殺者(含、未遂)があり、大和市として自殺予防、対策を考えていかなくてはならない状況となってきた（県では統計調査を予定しており、人口20万前後、高自殺率という条件を満たしている大和市が調査地域に指定される可能性がある）。市の施策として決定した訳ではないが、障害福祉課として取り組んでいく問題となる可能性があるため、地域の課題として承知しておいていただきたい。

(2) 専門部会

・児童部会

・出席者

前田氏、西山氏、滝本氏、三部氏、宇山氏、熱田、有川、山田

・内 容

・話し合うテーマについて

・乳幼児等早期療育システムの確立について

・学齢児における療育相談について

主に、上記 2 点についてテーマとして提案。

市の障害福祉政策に反映させていく事を考えると、2つのテーマについて話し合っていると間に合わなくなるので、優先順位を決めて取り組んでいきたい。

まずは、各関係機関の現状を洗い出し、取り組みや話し合いのスケジュールを提示していくこと。

学齢児の問題については確かに取り組みの必要性を感じているが、すぐには解決できるような課題ではないので、まずは乳幼児の課題について検討していく。乳幼児期の課題については、官民一体となって子育て支援という視点を持ってフォローアップしていくシステムをどのように作っていくかを検討していく。座間市の実践も参考にしていくと良いのではないか。

学齢期の課題については、特別支援教育の現状などの情報を共有していくことからスタートしていく。

・日程について

毎月第 1 金曜日 17:30~19:30 自立支援センターにて定例会を開催する。

第 1 回会議は、9 月 7 日とする。

資料等は事前に配布し、部会までに各自で目を通しておくこと。資料は市障福課・熱田が中心となり、相談支援事業所と連携をとって作成する。

今後、青少年センターもメンバーに加えていくことも検討する。

・精神部会

・出席者

佐野氏、土屋氏、高松氏、八賀氏、曲本氏、日向氏、石田、村尾、岩渕、三瓶

・各委員自己紹介

・日程について

毎月第 2 金曜日 16:00~ 自立支援センターにて定例会を開催する。

第 1 回会議は 8 月 10 日とする。

- ・就労部会

- ・出席者

- 芳賀氏、宮原氏、民實、佐藤

- ・内 容

- 今年度の活動目的は、知的障害者向け、アセスメントシートの作成とし、アセスメントシートを作成していく過程で、就労に関する課題等がはっきりとみえてくると考えられるため、課題整理をし、来年度以降の活動(含、身障、精神、施設で抱えている課題)に繋げていく。

- ・日程について

- 毎月第3火曜日 15:00～16:30 自立支援センターにて定例会を開催する。

- 第1回会議については、8月24日 15:00からとする。

以 上